

資生堂、最先端の生産技術を備えた「福岡久留米工場」竣工 ～スキンケアの国内新3工場がすべて完成～

資生堂は、「エリクシール」など中価格帯のスキンケア製品の生産工場として、5月20日に福岡県久留米市に福岡久留米工場を竣工し、6月より本格稼働を開始します。当社は19年に那須工場、20年に大阪茨木工場を設立し、この度福岡久留米工場の竣工をもって国内新3工場がすべて揃い、メイドインジャパンの高品質な製品をグローバルに安定的に提供する生産体制が整いました。

資生堂は、「世界で勝てる日本発のグローバルビューティーカンパニー」を目指し、中長期経営戦略「WIN 2023 and Beyond」のもと、抜本的な経営改革を実行しています。長期安定的な供給基盤構築のために国内に工場を新たに3つ設立し、2030年までにスキンケア領域における世界 No.1 の企業になることを目指しています。福岡久留米工場は最先端のIoTを取り入れた効率的な生産を特長とし、資生堂のスキンケア領域の生産をグローバルでリードしていきます。



[外観]



[リニアモーター駆動の梱包装置]

福岡久留米工場の特長

① アジアに向けたスキンケア製品の生産工場

福岡久留米工場は、日本発のエイジングケアブランドで、日本以外にも中国やトラベルリテールなどアジアを中心に展開している「エリクシール」をはじめとした中価格帯のスキンケア製品を生産します。2026年以降生産数量を最大約1.4億個まで引き上げ、将来の需要に対応していきます。また、九州の立地を生かし、生産した製品は博多港から短期間でアジアのお客さまに出荷することが可能となります。

② 最先端のIoTを取り入れた効率的な生産体制

福岡久留米工場は、最先端IoTテクノロジーなどを取り入れた化粧品工場です。これまでベテラン社員が長年培った知識や高度な技術で設備運転の条件を調整していたことを、経験の浅い社員でも匠の技を発揮できるようセンシング技術と情報処理技術で支援し、生産技術の標準化、高度化につなげます。

具体的には、グローバルで業界初となる「化粧品の中身製造において、複数の品質項目をリアルタイムでモニタリングし、設備を自動制御する製造方法」に加え、少人数でのオペレーションのための複数ラインの作業進捗可視化システムなども活用し、さらなる品質の安定性と生産性の向上を実現します。また、一部の化粧品の充填仕上げラインにおいては、最新のロボットや化粧品業界初のリニアモーター駆動の梱包装置を導入し、生産性が約3倍(当社既存設備比)に向上します。効率化により生み出された時間を他の製造エリアでのさらなる改善に費やし、より一層の品質向上に結び付け、効率的な生産と高品質を実現します。

③ 環境に配慮したサステナブルな工場

福岡久留米工場は環境に配慮した建屋構造を有しており、工場建造物としては評価の高い、CASBEE(建築環境総合性能評価システム)の A ランクの評価を取得しました。当工場では外壁や屋根の断熱性能を高め、照明器具も全館 LED 照明を採用するなど、建築物省エネ法が定める基準建築物に対し 19%の省エネルギー(BEI 値※¹)で建設しています。

また、施設内で利用する電力は 100%再生可能エネルギーを用いています。駐車場の敷地には太陽光パネルを設置しており、2023 年にはさらに倍の太陽光パネルを設置し、当工場で使用する年間消費電力の 11%※²にあたる合計 1,800MWh の発電量を見込んでいます。また工場正面の白い外壁タイルは、原料に再生材料を 20%以上用いることとされているグリーン購入法の基準を満たした特注タイルを使用しています。

さらに地震や自然災害への対応として、太陽光パネルで発電した電力を使用し、地下水をろ過した水を飲料水として供給することや一部トイレを停電時にも使用できるなど、災害時には地域の皆さまが活用頂ける設備を備えています。

※1 BEI 値:設計一次エネルギー消費量(その他一次エネルギー消費量を除く)を基準一次エネルギー消費量(その他一次エネルギー消費量を除く)で除した値。新築時の一次エネルギー消費性能基準においては、BEI が 1.0 以下であれば基準適合となる。

※2 89%の電力は九州電力の再エネ ECO プランにて水力・地熱由来の電気を使用

④ 「PEOPLE FIRST」な職場環境

資生堂は「PEOPLE FIRST」という考えのもと、人財が会社にとって最も大切な資産であり、「強い個が強い会社をつくる」という組織を目指し、人財育成へ積極的に投資しています。生産現場でも高い品質を支えるのは人財という考えのもと、働きやすい環境を取り入れています。当工場でも従業員の 6 割以上を占める女性目線でのワークプレイス改革をはじめ、場所とスタイルを自由に選択できる ABW(Activity Based Working)の考え方に基づいたフリーアドレスのオフィス環境を取り入れ、全スタッフ部門を集約した広い空間を設計することで、部門間の交流による業務効率の最大化や、新価値の創出を生み出すオフィスを実現しています。

⑤ 地域のみなさまと共に

当工場は地域に開かれた工場として、民間、官公庁、学校など、地域の交流活動の場となれるよう、地域との共存共栄を目指します。単なる工場としての機能だけではなく、工場から世界の人々にブランド価値と品質へのこだわりを発信し、資生堂ファンを増やす拠点としても位置付け、一般のお客さま向けに見学施設「BEAUTY PLANET」をオープンし、2023 年以降に工場見学をスタートする予定です。

福岡久留米工場の概要

住所	福岡県久留米市田主丸町鷹取 808
土地面積	9.7 万 m ² (2022 年 5 月現在)
建築概要	地上 4 階(鉄骨造)
投資規模	約 450 億円
生産品目	国内外向け中価格帯のスキンケア製品
生産能力	年間約 1.4 億個 (2026 年以降)
稼働開始	生産開始 2022 年 4 月、出荷開始 2022 年 5 月 20 日

〈参考資料〉

当社における各工場の概要と主な担当製品一覧(※2022年5月現在)

【日本6工場】

工場(カッコ内は設立年)	所在地	生産担当分野(担当製品)
掛川工場(1975)	静岡県掛川市	メイクアップ製品
大阪工場(1939)	大阪府大阪市	プレステージ※スキンケア製品 ※高価格帯
久喜工場(1983)	埼玉県久喜市	パーソナルケア製品※、サンケア製品 ※ファイントウデイ資生堂製品
那須工場(2019)	栃木県大田原市	プレミアム※スキンケア製品 ※中価格帯 プレステージスキンケア製品
大阪茨木工場(2020)	大阪府茨木市	プレステージスキンケア製品
福岡久留米工場(2022)	福岡県久留米市	プレミアムスキンケア製品

【海外7工場】

工場(カッコ内は設立年)	所在地	生産担当分野(担当製品)
資生堂アメリカ イーストウインザー工場(1998)	アメリカ ニュージャージー州	グローバルスキンケア、メイクアップ製品
ジアン工場(1991)	フランス ジアン市	フレグランス製品
バル・ド・ロワール工場(1999)	フランス オルム市	グローバルスキンケア製品、フレグランス製品
資生堂麗源化粧品有限公司 (1993)	中国 北京市	中国域内向けスキンケア/メイクアップ製品
資生堂化粧品制造有限公司(1999)	中国 上海市	中国域内向けスキンケア/メイクアップ製品
台湾資生堂股份有限公司 新竹工場(2016)	台湾 新竹縣	台湾域内向けスキンケア/メイクアップ製品、 ASEAN 向けスキンケア/メイクアップ製品
資生堂ベトナム ベトナム工場(2010)	ベトナム ドンナイ省 ビエンホア市	日本およびアジア向けスキンケア製品